



四国版

日本教育新聞社

〒105-8436 東京都港区虎ノ門1-2-8
☎03(5510)7777(大代表)

郵便振替 0015-8-196500

©日本教育新聞社 2013

関西支社

〒530-0003
大阪市北区堂島2-4-27
☎06(6341)6111

購読申し込み
〒03(5510)7828
E-mail: kyokoku@kyoku-press.co.jp
http://www.kyoku-press.co.jp

予防教育科学に取り組み

徳島県藍住町立藍住西小学校

徳島県の藍住町は、町32年を迎えた。藍住町は、名が示すとおり藍染で有名で徳島市に隣接し、ベッドな地域。阿波藍の栽培タウンとして発展。30年のはじまりは、平安時代までさかのぼる。江戸時代から明治にかけて最盛期を迎えた藍も、時代の流れとともに移り変わりをみせ、衰退の一途をたどっていく。しかし、10数年前からは一部の農家が藍づくりを再開し、町の伝統を守ろうという人たちが増えている。

藍住町立藍住西小学校(青木秀明校長、児童数590人)は、本年創立32年を迎えた。藍住町は、名が示すとおり藍染で有名で徳島市に隣接し、ベッドな地域。阿波藍の栽培タウンとして発展。30年のはじまりは、平安時代までさかのぼる。江戸時代から明治にかけて最盛期を迎えた藍も、時代の流れとともに移り変わりをみせ、衰退の一途をたどっていく。しかし、10数年前からは一部の農家が藍づくりを再開し、町の伝統を守ろうという人たちが増えている。



藍住町立藍住西小学校(青木秀明校長、児童数590人)は、本年創立32年を迎えた。藍住町は、名が示すとおり藍染で有名で徳島市に隣接し、ベッドな地域。阿波藍の栽培タウンとして発展。30年のはじまりは、平安時代までさかのぼる。江戸時代から明治にかけて最盛期を迎えた藍も、時代の流れとともに移り変わりをみせ、衰退の一途をたどっていく。しかし、10数年前からは一部の農家が藍づくりを再開し、町の伝統を守ろうという人たちが増えている。

徳島県の藍住町は、町32年を迎えた。藍住町は、名が示すとおり藍染で有名で徳島市に隣接し、ベッドな地域。阿波藍の栽培タウンとして発展。30年のはじまりは、平安時代までさかのぼる。江戸時代から明治にかけて最盛期を迎えた藍も、時代の流れとともに移り変わりをみせ、衰退の一途をたどっていく。しかし、10数年前からは一部の農家が藍づくりを再開し、町の伝統を守ろうという人たちが増えている。

この3年生を対象に、予防教育科学に取り組んでいる。本紙6月17日付既報。藍住町では、予防教育の本質を、「子どもの目線に立った現代版道徳教育」、「理念やスローガンを単に呼びかけるのではなく、実践的カリキュラムを伴った教育」、「やる気と安心感をもち、積極的に生きていこうとする力を付与する教育」と捉えている。予防教育科学は「自立性の育成」と「対人関係性の育成」を大目標に掲げ、それらを支える4つの構成目標として、①自己信頼(自信)、②防教育科学は「いじめ、不登校、規範意識に直接かかわる取り組み。脳科学の知見に基づいた発想感情の理解が新しい。今の子どもが持つ課題に対応しよう」と成、③向社性」をその効果に会性の育期待している。



この3年生を対象に、予防教育科学に取り組んでいる。本紙6月17日付既報。藍住町では、予防教育の本質を、「子どもの目線に立った現代版道徳教育」、「理念やスローガンを単に呼びかけるのではなく、実践的カリキュラムを伴った教育」、「やる気と安心感をもち、積極的に生きていこうとする力を付与する教育」と捉えている。予防教育科学は「自立性の育成」と「対人関係性の育成」を大目標に掲げ、それらを支える4つの構成目標として、①自己信頼(自信)、②防教育科学は「いじめ、不登校、規範意識に直接かかわる取り組み。脳科学の知見に基づいた発想感情の理解が新しい。今の子どもが持つ課題に対応しよう」と成、③向社性」をその効果に会性の育期待している。

この3年生を対象に、予防教育科学に取り組んでいる。本紙6月17日付既報。藍住町では、予防教育の本質を、「子どもの目線に立った現代版道徳教育」、「理念やスローガンを単に呼びかけるのではなく、実践的カリキュラムを伴った教育」、「やる気と安心感をもち、積極的に生きていこうとする力を付与する教育」と捉えている。予防教育科学は「自立性の育成」と「対人関係性の育成」を大目標に掲げ、それらを支える4つの構成目標として、①自己信頼(自信)、②防教育科学は「いじめ、不登校、規範意識に直接かかわる取り組み。脳科学の知見に基づいた発想感情の理解が新しい。今の子どもが持つ課題に対応しよう」と成、③向社性」をその効果に会性の育期待している。